

# 栃木県内 2 事業所が雇用調整助成金を不正受給

## 栃木労働局が公表

1/20 19:30

栃木労働局は 20 日までに、建設業の「カインドテック(現KIND)」(宇都宮市平松本町、小川孝一郎(おがわこういちろう)代表取締役)と、倉庫業の「鯨岡倉庫」(小山市出井、川村正幸(かわむらまさゆき)代表取締役)が新型コロナウイルス禍に関連して雇用調整助成金(雇調金)を不正に受給していたと発表した。不正受給額はカインドテックが9663万3439円に上り、同労働局が公表した中で過去最高額。鯨岡倉庫は3358万875円だった。

宇都宮の会社「KIND」、雇調金 9600 万円を不正受給 コロナ禍の3年間、県内最高額 労働局が1億円

### 超返還要求

同労働局によると、カインドテックは雇調金の受給要件を満たしていないのに、売り上げが減少したとする虚偽の申請書類を作成。両事業所とも一部従業員が実際は休業していなかったのに休業したとする虚偽の申請書類も作成した。

カインドテックは2020年2月～23年3月の間の38回にわたり雇調金を不正に受給。鯨岡倉庫の不正受給は20年9月～22年12月の間の27回。

# 栃木県内 10 事業所がコロナ助成金不正受給

## 栃木労働局が公表

2024/7/6

新型コロナウイルスに関連する国の雇用調整助成金(雇調金)などを不正受給したとして、栃木労働局は5日、県内の10事業所を公表した。不正受給額が1事業所当たり約4750万円～190万円だった。助成金は返還を求める。

不正受給倍増5億円 雇用助成、県内 23 年度 43 件 新型コロナウイルスの感染拡大で

労働局によると、繊維布加工の朝日染色(足利市、田辺友紀代表取締役)は2020年4月~22年12月、申請した一部の労働者が休業したとする虚偽の申請書を作り、雇調金約4746万円を受給した。指摘を受け、全額返還したという。

飲食店のLINK(宇都宮市、林恒輝代表取締役)は20年4月~22年8月、月の売り上げや従業員に支払った休業手当額を偽った書類を作り、雇調金など計約2529万円を受け取った。納付計画を策定しているという。

10事業所のうち3件は労働局独自の調査で発覚した。7件は労働局への通報がきっかけだった。

その他の事業所と代表者は次の通り。

ホアシ(足利市、帆足拓也代表取締役)▽県南運輸(栃木市、相田昌之代表取締役)▽戸祭タクシー(宇都宮市、斎藤秀明代表取締役)▽京伸塗装工業(日光市、岡崎伸彦代表取締役)▽まあちゃん食堂(佐野市、吉羽優人代表社員)▽ARCS(佐野市、石田真人代表社員)▽炭火串焼とり芳(宇都宮市、熊田恵樹代表)▽下館環境(小山市、潮田安弘代表取締役)

[#コロナ助成金#栃木労働局#不正受給](#)

## 補助金 47 万円を不正受給 コロナ助成金巡り

## 足利商工会議所 経済産業省、6カ月の停止措

### 置

拡大する

新型コロナウイルスの影響を受けた中小事業者向けの助成制度を巡り、補助金を架空請求し、47万5千円を不正に支払わせたとして、経済産業省は2日までに、[足利商工会議所](#)に対し、補助金交付等の停止措置を行った。期間は6月28日から12月27日までの6カ月間。

[宇都宮の2事業所が雇調金など不正受給 休業と虚偽申請 栃木労働局](#)

同商議所によると、男性職員が2021年度、新型コロナ関係の給付金の申請支援などの相談実績がないにもかかわらず、実績があるかのような虚偽の業務日誌を作成して日本商工会議所(日商)に架空請求を行い、支援を行う専門相談員に謝金を支払わせた。日商への内部通報があり、発覚したという。

足利商工会議所は5月31日付で職員を懲戒解雇処分とした。男性職員は弁済の意志を示している。このほか、同職員の指示に従って事務を担当した職員を3日間の停職処分、管理監督責任として専務理事や事務局長を減給処分とした。再発防止策として、コンプライアンス委員会と内部通報制度の設置や、就業規則の見直しなどを行った。

6カ月間の補助金の交付停止に伴い、同商議所は当面、自主財源で事業を行う方針という。

## 県内6事業所、コロナ助成金を不正受給 栃木

### 労働局が公表 4事業所は未返還

新型コロナウイルスに関連する国の雇用調整助成金(雇調金)などを不正受給したとして、栃木労働局は29日、県内の6事業所を公表した。不正受給額は1事業所当たり約284万円～3978万円だった。2事業所は助成金を全額返還した一方、4事業所が全額未返還という。

介護報酬を不正受給か 真岡市議の社会福祉法人、600万円返還へ デイサービスなど提供せず

労働局によると、ダーツバーのバーハファディ(栃木市、伊賀並良治(いがなみりょうじ)代表)は2021年4月～22年9月、労働者の雇用や休業手当の支給を偽り、雇調金など計3978万円を受給した。期限内に納付しなかったという。

不動産業などの那須エステート(那須塩原市、井出法(いでおさむ)代表取締役)は20年4月～22年6月、休業したと偽り雇調金を約2769万円を受給。全額を返還した。

6事業所のうち3件は労働局独自の調査で発覚。3件は労働局への通報が端緒だった。労働局は「悪質性の高い場合は刑事告訴も検討する」としている。

その他の事業所と代表者は次の通り。

NASPO(那須塩原市、若杉厚仁代表取締役)▽栃木解体(那須塩原市、戸上哲也代表)▽スタッフハウス(宇都宮市、鈴木和夫代表取締役)▽竜翔興業(栃木市、田辺竜一代表)

## 県内12事業所、コロナ助成金を不正受給 栃

### 木労働局が公表

栃木労働局は1日、新型コロナウイルスに関連する雇用調整助成金などを不正受給したとして、県内12事業所を公表した。

支給前に発覚した1件を除き、不正受給の額は約184万円～約3157万円だった。助成金は返還を求める。

雇用助成、不正受給3億円 県内4～9月 既に前年度を7千万円上回る

飲食店や美容サロン事業などのスーパーフット(那須町、鈴木直幸(すずきなおゆき)代表)は2020年4月～9月、雇用していない外注業者を雇用していると偽り、6回にわたり同助成金約1045万円を不正受給した。経営者が同じ飲食店事業のフェリーチェ(大田原市)も休業したとする虚偽の申請書類を作成したが、支給前の労働局の調査で発覚した。

製造業の安藤製作所(佐野市、小暮礼子(こぐれれいこ)取締役)は20年4月～22年11月、水増しした給与金額で虚偽の申請書類を作成するなどし、同助成金など計約3157万円を受給した。

その他の事業所と代表者は次の通り。

根本タイヤ商会(佐野市、根本康子代表取締役)▽ときわ(日光市、常盤キヨ代表取締役)▽バリーズホーム(宇都宮市、五月女達也代表取締役)▽にしき(宇都宮市、五月女美奈子代表取締役)▽正峰建設(宇都宮市、上野美峰代表取締役社長)▽山仁(宇都宮市、大橋健一代表取締役)▽P&T ASAKAZEサポート(佐野市、小野幸雄代表)▽アイクリーンスタッフサービス(宇都宮市、伊藤和寛代表取締役)▽Square(宇都宮市、野中雄太代表取締役)

#不正受給#コロナ助成金#雇用調整助成金

## 2事業所が不正受給 雇調金など各約3800万円 栃木労働局

拡大する

新型コロナウイルスの電子顕微鏡写真(米国立アレルギー感染症研究所提供)

栃木労働局は10日、浴場業などの「サンシーズン」(宇都宮市鶴田町、高橋孝明社長)と、美容室経営「MIYABABY(ミヤベイビー)」(小山市駅東通り2丁目、宮部秀男社長)が新型コロナウイルス禍に関連して雇用調整助成金(雇調金)などを不正に受給していたと発表した。不正受給額はサンシーズンが3757万9010円、MIYABABYが3821万660円に上った。

県内3事業所、コロナ給付金不正受給 労働局が公表

労働局によると、両事業所は実際には従業員を休業させた事実がないのに、休ませたという虚偽の申請書類を作成した。

サンシーズンは2020年4月～22年4月までの間に35回、雇調金と緊急雇用安定助成金を不正に受け取った。MIYABABYは20年4月～22年9月間に26回、雇調金を不正受給した。申請時に書類の不備や不明な点があり、その後の調査で発覚した。

支給はそれぞれ、1月に取り消された。サンシーズンは全額返還済みで、MIYABABYは納付計画を策定中。それぞれ返還額の2割に当たる違約金と延滞金が加算された